

## 5. 震災を利用したチェーンメール

### 授業のねらい

平常時でも非常時でも、情報の出所や内容を確認、むやみに再発信しないことの大切さに気付かせる。

### 授業の価値

子どもたちは、被災者になった場合に必要な情報や情報を入手する手段は、ほぼ理解できる。しかし、実際のニュース（映像や新聞）を見ても、自分に経験がないため、実際に起きたことだと受け止めることができていない子どももいる。つまり、自分自身で情報を分析したり、判断する方法を理解したりすることはできていないと言える。

そこで、日々、大量に受け取っている情報に影響を受けていることを自覚すること、更に情報を分析的に見る力を付け、比較したり情報源を確認したりする態度を養い、自分自身で判断できる力を育てていくことが必要であると考えている。

この授業では、被災地の人々が受け取ったメールを活用する。そのメールを分析的に読み取る活動や、確かめる活動をしながら、他のメディアからの情報を受け取った場合の行動の仕方に生かせるように、授業を進める。

### 教科・領域等

社会科・総合的な学習の時間

### 対象学年

小学校第5学年～第6学年

### 活用する資料

千葉県石油タンクが爆発している写真2枚  
石油タンクの爆発について発信されていたチェーンメール  
チェーンメールに関する石油会社のホームページの記述

## ● 授業の展開

	学習活動	指導上の留意点
5分	<p><b>1. 石油会社の写真を見て、その状況を読み取る。</b></p> <p><input type="checkbox"/> この写真を見ましょう。</p> <p><b>●</b> 自分が近くに住んでいたらどう思いますか。          &lt;予想される反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怖い。・逃げる。</li> </ul> <p><b>○</b> 石油タンクが爆発しています。これは、東日本大震災の直後に、千葉県で爆発したものです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェーンメールの学習につなげるために、石油タンクが爆発している写真を提示し、非常事態であることを想像させる。</li> </ul>
35分	<div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>◎ 学習課題</b> 正しい情報の受け取り方を知ろう。</p> </div> <p><b>2. メールを見て、大事だと思うところに線を引く。</b></p> <p><input type="checkbox"/> 近くに住んでいる自分にとって、大事だと思うところに線を引きましょう。</p> <p><b>3. メールを見て、大事だと思うところを発表し、その理由を考える。</b></p> <p><b>●</b> どこに線を引きましたか。          &lt;予想される反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有害物質が雲に付着し、雨などと一緒に降る。</li> </ul> <p><b>4. メールを受け取った際の判断について考える。</b></p> <p><b>●</b> この大事なことが書かれてあるメールが自分のところに届いたら、あなたはどうしますか。          &lt;予想される反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の人に知らせる。</li> </ul> <p><b>●</b> どうしてですか。          &lt;予想される反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールに、「コピペなどして皆さんに知らせてください。」と書いてあるから。</li> </ul> <p><b>5. 石油会社のホームページを見てチェーンメールであることを知る。</b></p> <p><b>○</b> 実際には、このメールは多くの人に送られました。</p> <p><b>●</b> 送った人は悪意があったのでしょうか。          &lt;予想される反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悪意はなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30秒で大事だと思うところに線を引かせる。その後、隣の人と線を引いたところを確認させる。</li> <li>・「石油会社の勤務の方から」「工場勤務の方からの情報」などの意見から、それらの言葉がメールに信憑性をもたらすためであることに気付かせる。</li> <li>・大事なことがたくさん書かれているメールが、突然自分のところに届いた場合、そのまま送ってしまいがちになることに気付かせる。</li> <li>・石油会社のホームページに書かれていることから、メールに書かれていた情報が嘘であったことを知らせる。</li> <li>・その際に、メールを送った人は悪意があったのではなく、善意で送ってしまったことを押さえる。</li> </ul>
5分	<p><b>4. 震災の時のチェーンメールについてまとめる。</b></p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>まとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送り手は、正確な情報を送る。善意でもチェーンメールを送ってはいけない。そして、送って良いかどうか判断する。</li> <li>・受け手は、正しい情報かどうか確かめる。緊急時であっても、大人に聞いたり、ホームページで確かめたりする。そして、メールの内容を分析したり、読み解いたりする。</li> </ul> </div>	

● 発問     指示    ○ 説明